

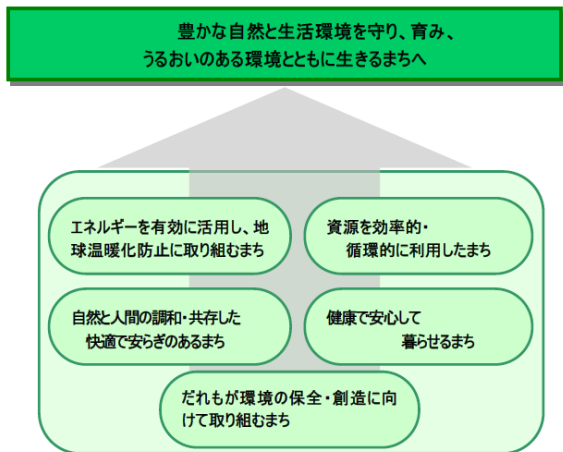
次期環境基本計画の骨子(案)について

現在の環境基本計画

（第 1 章） 計画の基本的事項

- ・計画の位置付け ①千葉市環境基本条例に基づき策定
②千葉市新基本計画の環境分野の個別計画
- ・計画期間 2011 年度～2021 年度（11 年間）

（第 2 章） 千葉市の目指す環境像と基本目標



- 1 エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち
①エネルギーを環境にやさしく利用する
②再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する
③ヒートアイランド対策を推進する
- 2 資源を効率的・循環的に利用したまち
④資源を大切に利用する
⑤廃棄物の発生を抑制する
⑥廃棄物を適正に処理する
- 3 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち
⑦豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する
⑧豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する
⑨良好な景観を保全・創造する
⑩自然とふれあう
- 4 健康で安心して暮らせるまち
⑪空気のきれいさを確保する
⑫川・海・池のきれいさを確保する
⑬まちの静けさやすがすがしさを確保する
⑭有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する
⑮地下水・土壌等の安全を確保する
- 5 だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち
⑯環境保全・創造の意欲を増進する
⑰環境教育を推進する
⑱市民、事業者、民間団体等との連携を推進する
⑲環境関連産業を育成し、技術開発を促進する
⑳地域間協力・国際協力を推進する

（第 3 章） 基本目標達成に向けた取組み

（第 4 章） 定量目標

（第 5 章） 事業別・行政区別環境配慮指針

（第 6 章） 環境基本計画の推進

- ・推進体制
 - ・基本計画の点検評価
- （資料）
- ・全体構成図
 - ・千葉市環境基本条例
 - ・計画策定の経緯

《次期計画の構成検討における背景》

◆国・県・市等の主な動向等

【反映】新計画／第2章、第3章

- ・SDGs の 17 のゴールに対し、我が国でも気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組み等）等の分野において積極的に取組みを展開する方針
- ・国の第五次環境基本計画においては、SDGs の考え方を活用し、経済・社会に関する諸課題を環境面から同時解決の実現を推進
- ・菅首相による所信表明演説において、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
- ・二酸化炭素排出抑制に向け、「緩和策」「適応策」を掲げた千葉市気候危機行動宣言を発出
- ・令和元年房総半島台風による大規模停電、災害廃棄物の大量発生への対応
- ・新型コロナウィルス感染症の流行に伴う社会変化

◆ 将来予測

【反映】新計画／第2章

- ・二酸化炭素排出量削減の伸び悩み、地球温暖化によるさらなる気温上昇と影響拡大
- ・再生可能エネルギー導入の増強、導入量増加の必要性拡大
- ・人口減少に伴う家庭系ごみ排出量の減少、製造工程における AI 活用・自動化、テレワークの進展等事業系ごみ排出量の減少
- ・世界的な脱プラスチックの加速化
- ・人口減少による谷津田・森林・農地の荒廃が加速、気候変動による生態系への影響が発生
- ・環境基準は概ね達成した状況を維持、環境基準の適用されない項目等への対応が必要
- ・若年層における環境活動家の増加、ドローンや IoT などを活用した環境学習

◆ 現行計画の進捗状況

【反映】新計画／第2章、別冊

- ・現行計画の進捗状況は、大半の定量目標及び点検・評価指標で改善もしくは現状維持
ただし、未利用エネルギーの活用、人材育成数、環境分野における相談件数等については後退
- ・環境審議会及び庁内 WG における過去の意見聴取では、数量目標の設定、点検・評価方法について多く意見が寄せられており、見直しが必要

◆ 市民等の意向(アンケート結果)

【反映】新計画／第2章

- ・多くの市民が全ての環境像について重要であることを認識
- ・未来の姿として、特に“緑”“自然の豊かさ”に関するキーワードが多く、未来を連想させる“子ども”や、“住みやすい”など暮らしの質の向上が挙げられた
- ・未来の姿を実現するために必要なこととして、全ての分野で多くの意見があり、全ての分野で様々な取組みが望まれている
- ・指標についてはほぼ全ての項目で「適切である」との回答が「適切でない」を上回っているが、目標の達成に向けた指標としてはイメージを抱きにくいという項目も散見された。

新計画策定の基本的な考え方

方針1 SDGs の考え方を最大限取り入れた計画作り

環境・経済・社会の三側面の統合的向上を目指す方向性、バックキャストなどの特徴を反映するとともに、SDGs ゴールとの関係性を整理する

方針2 変化に対応する計画作り

実施事業や環境目標値等、短期的な取組みや見直しに伴う指標について別冊とするなどし、適宜見直しを図ることを可能とした構成とする

方針3 目標・達成状況が分かりやすい計画作り

環境像及び基本目標の達成状況を把握するための目標値として、重要目標達成指標(KGI)を、各施策の進捗状況を把握する指標として成果指標(KPI)を設定する

方針4 関連する計画と整合の取れた計画作り

「(仮称)千葉市基本計画」と整合を図るとともに、環境分野の保全・創造に向けた部門別計画との役割を明確にする

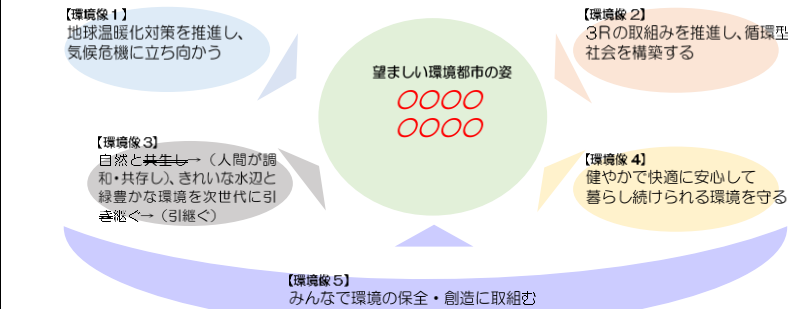
次期環境基本計画（案）

はじめに

（第 1 章） 環境基本計画の基本的事項について

- ・計画の位置付け ①千葉市環境基本条例に基づき策定
②（仮称）千葉市基本計画の環境分野の個別計画
- ・計画期間 2022 年度～2032 年度（11 年間）

（第 2 章） 本計画で目指す環境都市の姿・環境像・基本目標



1 地球温暖化対策を推進し、気候危機に立ち向かう

- 1-1 二酸化炭素排出量抑制に向けた「緩和策」を推進する
- 1-2 気候変動による影響への「適応策」を推進する

2 3R の取組みを推進し、循環型社会を構築する

- 2-1 2R の取組みを推進する
- 2-2 リサイクルを推進する
- 2-3 廃棄物を適正に処理する

3 自然と共生し、きれいな水辺と緑豊かな環境を次世代に引き継ぐ
→（人間が調和・共存し）

- 3-1 豊かな生物多様性を保全し活用する
- 3-2 豊かな緑と水辺を保全・活用する
- 3-3 良好な景観を保全・創造する
- 3-4 自然とふれあう機会を創出する

4 健やかで快適に安心して暮らし続けられる環境を守る

- 4-1 空気のきれいさを確保する
- 4-2 川・海・池のきれいさを確保する
- 4-3 騒音等を低減し静けさや心地よさを確保する
- 4-4 化学物質による環境リスクを未然に防止する
- 4-5 地下水・土壌等の安全を確保する

5 みんなで環境の保全・創造に ~~向けて~~取り組む

- 5-1 環境教育を通じて主体的に環境保全活動に取り組む
人材を育成する
- 5-2 あらゆるステークホルダーとの連携を推進する
- 5-3 環境関連産業の育成に取り組み、環境と経済の好循環を推進する

（第 3 章） 環境基本計画と SDGs との関係性【新規】

- ・本計画及び環境像・基本目標と SDGs の関係性
- ・SDGs の考え方・横断的な施策

（第 4 章） 環境基本計画の推進について

- ・各主体の役割と取組み・推進体制・進捗管理

本編

別冊

- 1 目指す環境像、基本目標の達成に向けた取組み
- 2 環境目標値
- 3 事業別・行政区別環境配慮指針

（資料）

- 1 社会情勢 2 市政の概況
- 3 環境を取巻く現況と課題 4 千葉市の取組状況
- 5 千葉市環境基本条例 6 環境基本計画策定の経緯
- 7 委員名簿 8 用語解説

各環境像に指標を設定し達成状況を評価

各基本目標に指標を設定し達成状況を評価